

普及活動情勢報告（令和6年11月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

電動剪定バサミを使って作業を省力化しませんか？ ～令和6年度 れいほく園芸部柚子部会目慣らし会～



電動剪定バサミの使い方を
聞く部会員

10月22日、JA高知県おおとよ支所で青果ユズの目慣らし会が開催され、生産者6人が出席しました。

普及所からは低コストの鶏糞を用いた新たな施肥例や選果間違いを防ぐための作業場の改善方法を紹介したほか、電動剪定バサミの操作方法を実機を用いて説明しました。

既に電動剪定バサミを導入している生産者からは「年を取ると握力が落ちるからラクに作業ができる」、「剪定した大枝を裁断するときにとっても便利だ」などの感想が聞かれ、他の生産者も興味津々な様子でした。

普及所は今後も関係機関と連携し青果生産の維持に向けた取組を推進していきます。

県外の先進地を視察！ ～ミニトマト部会鳥取視察研修～



産地間で情報交換！

10月30日、JA高知県れいほく園芸部ミニトマト部会は、鳥取県琴浦町のミニトマト生産部会を視察し、生産者6名が参加しました。

当日は高温対策などについて先進的な取り組みを行うミニトマト農園を視察し、高温対策や栽培技術について調査や情報交換を行いました。普及所は嶺北地域のミニトマト産地が抱える課題を説明し、必要な情報が得られるように支援を行いました。

生産者からは「かん水方法や摘花技術など、参考になることが多かった」などの声が聞かれました。

普及所は今後もミニトマトの生産拡大に向けて、JAと連携して現地視察などの取組を支援していきます。

稲作こよみ検討会



内容について協議中

11月6日、土長営農経済センターれいほく支所にて「れいほく稲作こよみ」の検討会が開かれ、JA高知県9名と普及所2名が出席しました。

今年度のこよみについて、追記あるいは修正が必要な箇所はないか見直すとともに、農家に伝わりやすく、かつ見やすい内容になることが意識した協議が行われました。今回は新たに、高温で問題となっている白未熟粒の発生対策や水管理の注意点を明記しました。今後、JA高知県本部による校正を経て、最終確認が終わり次第、農家のもとへ配布されます。

普及所は今後も関係機関と連携しながら、嶺北地域の稲作を支援していきます。

大川村産業祭の野菜品評会の開催



出品された野菜

11月9～10日、大川村産業文化祭の開催に先だって、8日に野菜品評会の審査が大川村山村開発センターにて行われました。

普及所は審査の基準などを審査員にアドバイスしました。

出品点数は34点と少ないものの、たけのこ芋や八つ頭など珍しい野菜や形がユニークな野菜などが出品されており、楽しい展示となりました。

普及所は今後もやりがいのある農業を応援していきます。